



朝風

平成 30 年度
学校報 7 月号①
大 仙 市 立
大 曲 南 中 学 校

7月の予定



1	日	学校安全日 SUPER PTA!
2	月	振替休業日
3	火	3年実力テスト *緑のカーテン(ゴーヤ)始めました!
4	水	寄贈品贈呈式(*詳細は次号で)
5	木	県総体・県南吹奏楽コン壮行会
8	日	県南吹奏楽コンクール(湯沢市文化会館)
10	火	1年宿泊体験学習(秋田市~11日)
12	木	保健集会 大沼博士の出前授業(1年)
13	金	専門委員会 ふりかえり FRIDAY
14	土	全県総体(14日~16日)
16	月	海の日
17	火	学友区会 盆踊り練習 職員会議
18	水	読み聞かせ TIME 盆踊り練習 基礎テスト英語①
19	木	小・中合同クリーンアップ打ち合わせ パワーアップタイム
21	土	通信陸上(大館市~22日)
23	月	夏季休業(~8/23)職員研修(防災) 小・中合同クリーンアップ
24	火	仙教研「大会」 *午後学校は停電 全国道場少年剣道大会(~25日)
25	水	2年職場体験(~27日)
27	金	3年被災地訪問(気仙沼方面)
31	火	大仙市教職員研究集会

「自立」・「対話」・「貢献」

広い視野をもち 互いを認め合い 地域から行動する生徒の育成

6月号①で、今年度の学校教育目標の「貢献」について説明いたしました。今回は「対話」です。

グローバル社会で活躍できる人材の資質として、語学だけではなく「多様性や様々な価値観を受け入れること」を挙げる企業も少なくありません。一方で、詳しいことにはとても詳しいのに視野の狭い人や考え方の違う人に無関心・不寛容な人が増えてきているとの指摘もあります。

「対話」について本校では、互いの違いを認め合い、尊重し合うために必要であり、多様性を受け入れるための基礎と捉えています。そこで、国際教育の一環として次のようなことに取り組みました。

「対話①」南中オーストラリア



生徒数が少ないという点を逆手に取り、大仙市教育委員会 CIR のジャスティン先生(オーストラリアのパース出身)の力をお借りして、2年生が英語の時間にパースの中学生とスカイプで交流を行いました。リアルタイムでのやり取りを、子どもたちはどう感じたのでしょうか?



「対話②」3年生 in 国際教養大

3年生は、6月26日に国際教養大(AIU)に出かけ、留学生の方々と交流を行いました。施設見学や教養大の説明を受けた後、いよいよグループごとの交流です。本郷家を事前に訪問し、そのプレゼンを行った班もありました。(今年も「竹刀でポコ!」↓)



大仙市教育委員訪問

6月25日、吉川教育長、高見文子教育委員をはじめ、市教育委員会の方々が本校を訪れ、授業参観や懇談を行いました。

○「(校内の)環境がいい。生徒に働きかける環境になっている。批判する力を高めるように去年の訪問でお願いしたが、(話合いに参加したら)特に3年生が伸びている。」(吉川教育長)

○「誕生日のカードや『5つのシン友』の掲示などから、学級経営の基本的な考え方が伝わってきた。授業中の先生の表情が柔らかく、子どもたちが見守られている感じがした。」(高見教育委員)

○「明るい。子どもたちがすごく変わった印象を受ける。(授業中の)表情が特にいい。子どもたちの活動を大切にしている校内環境が見られた。」(高野指導部長)



今年もフルコースな1日 スーパーPTA お疲れさまでした



その1：親水公園クリーンアップ・奉仕作業



1年部の皆さんには親水クリーンアップに参加していただきました。また、2年部・3年部の皆さんには、校舎内外の環境整備をお願いしました。今回の目玉は、中庭にあるコンクリートの枠に土をいれることです。

せっかく茶室がある中庭なのに、少し無粋な感じがするこの部分に土を盛り、花壇のようにして、紫陽花を植えてみようと考えています。(48名参加)



- 「この暑い中、みんながんばっているな～。ほれ取れ！」(試合と一体化して観戦中の坂本教頭)
- 「自分たちのできる精一杯だったけど、負けると悔しい。」(1年女子),
- 「この(親子の)ミックスのルールが楽しい。親子の力を合わせないとできないから。」(1年父)

その2：授業参観



1年生～社会 2年生～美術 3年生～国語

皆様に申し訳ないくらい暑かったのですが、各学年とも一生懸命に学習に取り組んでいました。

その3：学年・学級懇談



4月からの歩みや夏休みの生活等についてお話をさせていただきました。出席できなかった方は、PTA資料をご覧ください。(47名参加)



*3年国語はピリオバトル

第60回 秋田県美術展覧会

<デザインの部>

入選 3年 阪本さん
作品名 「tradition」

その4：PTA親子スポレクバレーボール大会

3年生の後藤さん親子の選手宣誓の後、熱戦が展開されました。毎年の事ながら、バレーに関しては圧倒的に「親の世代」が上手です。最初の中学生同士の試合を見て「・・・」と気を揉んだのですが、保護者の皆さんのプレーに刺激を受けて、大会後半になると中学生のプレーも格段に向上していました。(50名弱参加)



パンダ目池(通称)はなぜパンダ目池なのか?

実は、池に用水路から水をくみ上げて池に流し込んでいたポンプが壊れて、池の水位がグングン下がってしまいました。このままだと、池の鯉が鳥にねらわれてしまいます。困っていたところ、PTA副会長の打川さんがポンプを修理してくださいました。ありがとうございました!



<大会結果>

優勝	3年(2勝0敗)
2位	2年(1勝1敗)
3位	1年(0勝2敗)

